「日本防災考古学会」（仮称）の創設と会員の募集

**１．プロローグとして－まず支部の創設から　～2021年3月をメドに**

　まず、このプロジェクトの範囲は、東北6県と北海道とします。本部は、仙台に置くことからはじめますが、各支部単位で、組織や活動方針等を練り上げるところからはじめたいと思います。

支部間の意見交換・情報交換等を経ながら、本題へと進めれば良いと考えます。第１回目の事業は、つぎのシンポジウムへの参加を企画しています。

・2021年7月26日～29日　仙台国際センター（会場）

第30回国債津波シンポジウム（日本側の主催は東北大学災害科学国際研究所）

考古学部門から、宮城県本部及び北海道支部から「津波」についての発表をエントリーします。

**2．学会の創設－2021年11月**

　各支部で十分議論を尽くし、まとまりの結果として、「日本防災考古学会」へと移行、活動がはじまります。

　創設学会の性格上、学際的研究と実践とが不可欠となります。現在、研究の中心となっている「防災学」とは、東北大学災害科学国際研究所、徳島大環境防災センター、国立防災科学研究所などとの共同研究・調査等があげられます。

　会員ご希望の方々は横山までご連絡をお願いいたします（’201127）。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　連絡：横山　英介

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　携帯：090-7645-1163